



Cisco Unity 7.x システム要件

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Published May 21, 2008

このドキュメントでは、Cisco Unity システム バージョン 7.x をインストールするための要件を示し、使用可能な言語およびユニファイド メッセージ コンフィギュレーションとボイス メッセージ コンフィギュレーションの特徴について説明します。このドキュメントには、次の項があります。

- [ハードウェア要件 \(P.2\)](#)
- [ソフトウェア要件 \(P.3\)](#)
- [サードパーティ製ソフトウェアの言語要件 \(P.11\)](#)
- [Active Directory の要件 \(P.13\)](#)
- [ネットワーク要件 \(P.14\)](#)
- [メッセージストア クラスタリングの使用要件 \(P.17\)](#)
- [Domino パーティショニングの要件 \(P.17\)](#)
- [Cisco Unity フェールオーバーの要件 \(P.18\)](#)
- [スタンバイ冗長性の要件 \(P.22\)](#)
- [Cisco Unity Phone View の要件 \(P.25\)](#)
- [Cisco Unity サーバで 96 個を超えるボイス メッセージ ポートまたは 7,500 人を超えるユーザの場合の要件 \(P.25\)](#)
- [Cisco Unity ホスピタリティおよびプロパティ マネジメントシステム連動要件 \(P.25\)](#)
- [Cisco Unity コンポーネントで使用可能な言語 \(P.26\)](#)
- [Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴 \(P.28\)](#)



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

Copyright © 2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-16761-01-J

ハードウェア要件

- [ハードウェア要件：Cisco Unity サーバ \(P.2\)](#)
- [ハードウェア要件：Cisco Unity 音声認識サーバ \(P.2\)](#)

ハードウェア要件：Cisco Unity サーバ

- Cisco Unity の仕様を満たすサーバ。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。



注意

Cisco TAC では、『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていないプラットフォームの Cisco Unity に関して、インストール、カスタマイズ、またはトラブルシューティングなどのサポートを提供していません。

- Cisco Unity との適合性が確認されているボイスカード (Cisco Unity を Cisco Unified Communications Manager と連動させる場合には、ボイスカードは必要ありません)。
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/7x/support/7xcusupp.html にある『Cisco Unity 7.x サポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』の「サポートされるボイスカード」および「サポートされるその他の電話システム連動」の項を参照してください。

アメリカ合衆国以外で Cisco Unity システムをインストールしており、アナログループを使用して中央局に直接接続する場合は、Intel Dialogic ボイスカードにインラインの電話会社のフィルタをインストールして、タックス インパルス信号をフィルタリングする必要がある場合があります。詳細については、ボイスカードに付属する Intel Dialogic のドキュメント、および法規制に関する注意書きを参照してください。

- ボイスカードを電話システムに接続するために必要なケーブル、ライン スプリッタ、およびアダプタ。回線交換電話システムの連動タイプ別に必要なケーブルおよびその他のコンポーネントについては、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/7x/support/7xcusupp.html にある『Cisco Unity 7.x サポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポートポリシー』の「サポートされるその他の電話システム連動」の項を参照してください。

H.100 コネクタのカードを取り付ける場合は、少なくともカードと同数のコネクタがあり、コネクタの残りが 5 つ以内に収まる H.100 ケーブルを使用してカードを接続する必要があります (すべてのカードを 1 本のケーブルで接続する必要があるため)。

ハードウェア要件：Cisco Unity 音声認識サーバ

- Cisco Unity 音声認識サーバの仕様を満たすサーバ。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。



注意

Cisco TAC では、『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に音声認識のサポート対象として記載されていないプラットフォームでの Cisco Unity 音声認識ソフトウェアに関して、インストール、カスタマイズ、またはトラブルシューティングなどのサポートを提供していません。

Cisco Unity 音声認識では、ボイスカードを使用する電話システム連動はサポートされません。ボイスカードを使用して Cisco Unity に連動する電話システムの内線番号を持つユーザは、音声認識機能を使用できません。

ソフトウェア要件

- ソフトウェア要件：Cisco Unity サーバ (P.3)
- ソフトウェア要件：Cisco Unity 音声認識サーバ (P.5)
- ソフトウェア要件：メッセージストア (P.6)
- ソフトウェア要件：ユーザワークステーション (P.10)



(注)

Cisco Unity サーバ上で Cisco Security Agent for Cisco Unity を実行しようとする場合、必要なソフトウェアのバージョンのうち、サポートされていないバージョンがあります。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_release_notes_list.html にある

『Cisco Security Agent for Cisco Unity リリースノート』の「ソフトウェア要件」の項を参照してください。

ソフトウェア要件：Cisco Unity サーバ

- サポートされている 32 ビットバージョンの Microsoft Windows Server 2003 または Windows 2000 Server
 - Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition
Domino、Exchange 2007、および Exchange 2003 のすべてのコンフィギュレーションでサポートされます。Exchange 2000 がメッセージストアである場合は、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみサポートされます。
 - Windows Server 2003 R2 Standard Edition
Domino、Exchange 2007、および Exchange 2003 のすべてのコンフィギュレーションでサポートされます。Exchange 2000 がメッセージストアである場合は、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみサポートされます。
 - Windows Server 2003 Enterprise Edition
Domino、Exchange 2007、および Exchange 2003 のすべてのコンフィギュレーションでサポートされます。Exchange 2000 がメッセージストアである場合は、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみサポートされます。
 - Windows Server 2003 Standard Edition
Domino、Exchange 2007、および Exchange 2003 のすべてのコンフィギュレーションでサポートされます。Exchange 2000 がメッセージストアである場合は、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみサポートされます。
 - Windows 2000 Server
選択されたサーバでのみサポートされます。詳細については、
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』の「Operating System」の項を参照してください。
 - Windows 2000 Advanced Server
選択されたサーバでのみサポートされます。詳細については、
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』の「Operating System」の項を参照してください。
- これらの Windows バージョンは、英語、フランス語、ドイツ語、および日本語でサポートされています。



注意 Cisco Unity Server Updates ウィザードを使用して Windows、SQL Server 2000 または MSDE 2000、Internet Explorer、および Exchange 用の Microsoft アップデートをインストールするには、それらのアプリケーションの英語版をインストールする必要があります。別の言語でインストールする場合は、Microsoft の Web サイトから Microsoft アップデートをダウンロードする必要があります。

Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクは、Windows Server 2003 または Windows 2000 Server を英語でインストールします。Windows Server 2003 をインストールするディスクによって Microsoft Multilingual User Interface もインストールするので、Cisco Unity での使用がサポートされる言語に Windows ユーザ インターフェイスをローカライズすることができます。

Cisco Unity は、Windows 2000 Professional または Windows 2000 Datacenter Server との適合性が確認されていません。



注意 Windows Server 2003 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合、ボイスカードとボイスカードソフトウェアは正しく機能しません。したがって、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでは、ボイスカードを使用する回線交換電話システム連動はサポートされません。ただし、IP 連動(Cisco Unified Communications Manager および SIP)と PIMG/TIMG 連動は、Windows Server 2003 がインストールされた Cisco Unity サーバでサポートされます。PIMG/TIMG 連動がサポートされる電話システムの一覧は、新規電話システムの適合性が確認されたときに改訂されます。

- 適切なバージョンの Microsoft SQL Server
 - Microsoft SQL Server 2000 Standard Edition(ボイス ポートが 33 個以上あるシステムの場合)
 - Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000)(ボイス ポートが 32 個以下のシステムの場合)

その他の SQL Server および MSDE のエディションはサポートされていません。



(注) Cisco Unity フェールオーバーを使用するシステムでは、ボイス ポートの数にかかわらず SQL Server 2000 Standard Edition が必要です(P.18 の「Cisco Unity フェールオーバーの要件」も参照してください)。

- Microsoft Extensible Markup Language (MSXML) 3.0
- Microsoft Internet Explorer 6.0
- Microsoft .NET Framework 1.1 および 2.0
- Microsoft Visual C++ 2005 Redistributable DLL
- Microsoft Windows Installer 3.1
- Microsoft Windows 2000 Server のパッチ MS06-051
- Business Objects Crystal Reports XI
- Cisco Unity-CM TSP バージョン 8.3(1) (Skinny Call Control Protocol (SCCP) を使用して Cisco Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express と Cisco Unity を連動させる場合)
- Cisco Unity 7.x
- 「サービスパックの最小要件 : Cisco Unity サーバ」の項に示されているサービスパック

サービスパックの最小要件 : Cisco Unity サーバ

- Windows Server 2003 Service Pack 2 (Cisco Unity サーバ上の Windows 2003 用)
- Windows 2000 Server Service Pack 4 (Cisco Unity サーバ上の Windows 2000 用)
- SQL Server 2000 Service Pack 4 (Cisco Unity サーバ上の SQL Server 2000 用)
- MSDE 2000 Service Pack 4 (Cisco Unity サーバ上の MSDE 2000 用)
- Cisco Unity サーバが Windows 2000 Server Service Pack 4 を実行している場合は、Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
- Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 1
- MSXML 3.0 Service Pack 7

また、Microsoft が毎月リリースするセキュリティ アップデートを使用して、Cisco Unity をアップデートすることを推奨します。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/updates/wizard/cuupwz.html にある『*Software Installed by the Cisco Unity Server Updates Wizard*』を参照してください。

サポート情報については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/7x/support/7xcusupp.html にある『*Cisco Unity 7.x サポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー*』の「Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー」の項を参照してください。

ソフトウェア要件 : Cisco Unity 音声認識サーバ

- Microsoft Windows Server 2003 のサポートされるバージョンは次のとおりです。
 - Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition
 - Windows Server 2003 R2 Standard Edition
 - Windows Server 2003 Enterprise Edition
 - Windows Server 2003 Standard Edition

音声認識サーバでは、Windows Server 2003 は英語でのみサポートされています。



(注) 音声認識ソフトウェアは、別個の音声認識サーバにインストールされている必要があります。Cisco Unity サーバでのソフトウェアのインストールはサポートされていません。

- 「サービスパックの最小要件 : Cisco Unity 音声認識サーバ」の項に示されているサービスパック。
- G.711 Mu-Law オーディオ形式が音声認識サーバと電話システムに必要です。



注意

音声認識サーバまたは電話システムが G.729a を使用している場合や既存のメッセージ、グリーティング、名前が G.711 Mu-Law 以外のオーディオ形式で録音されている場合、音声認識は機能しません。

サービス バックの最小要件 : Cisco Unity 音声認識サーバ

- Windows Server 2003 Service Pack 2

また、Microsoft が毎月リリースするセキュリティ アップデートを使用して、Cisco Unity 音声認識サーバをアップデートすることを推奨します。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/updates/wizard/cuupwz.html にある

『Software Installed by the Cisco Unity Server Updates Wizard』を参照してください。

サポート情報については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/7x/support/7xcusupp.html にある 『Cisco Unity 7.x

サポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー』の「Microsoft サービス バック

およびアップデートについてのサポート ポリシー」の項を参照してください。

ソフトウェア要件 : メッセージストア

IBM Lotus Domino と Microsoft Exchange は、Cisco Unity 7.x とのメッセージストアとしての適合性が確認されています。次の各項を参照してください。

- [Domino 要件 : メッセージストア \(P.6\)](#)
- [Exchange 要件 : メッセージストア \(P.7\)](#)

Domino 要件 : メッセージストア

別個のサーバ上でのメッセージストアとしての Domino は、次の必要なソフトウェアとともに、ユニファイド メッセージまたはボイス メッセージに設定された Cisco Unity 7.x のインストールでサポートされます。

- Cisco Unity サーバ上でサポートされる IBM Lotus Note のバージョン。次の表 1 を参照してください。
- 次に示す項目に加えて、Domino サーバ上でサポートされる IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco のバージョン。次の表 1 を参照してください。
 - DUC for Cisco のサーバ コンポーネント (csServer) が、Cisco Unity ユーザに属するメール ファイルまたはメール ファイルの複製をホストする Domino サーバ上に必要です。
 - DUC for Cisco の管理コンポーネントである csAdmin を使用して、Domino ドメインのディレクトリ データベースをアップデートする必要があります。
- Domino サーバ上でサポートされる Domino のバージョン。次の表 1 を参照してください。
- DUC for Cisco を実行する Domino サーバ上でサポートされるオペレーティングシステムのバージョン。次の表 1 を参照してください。

Cisco Unity には、DUC for Cisco は付属していません。また、このソフトウェアはダウンロードすることもできません。DUC for Cisco は、Cisco Manufacturing から別途ご購入いただく必要があります。



(注)

Cisco Unity システムをインストールする場合は、メッセージストア環境がすでに設定され、稼働していることが前提となります。

表1 メッセージストアとしての Domino に対して必要なソフトウェアのサポートされるバージョンの組み合わせ

Domino のバージョン	Domino サーバ上での DUC for Cisco バージョン	Cisco Unity サーバ上での Notes バージョン	DUC for Cisco を実行する Domino サーバ上でのオペレーティングシステム
7.0.x	1.2.3	7.0	IBM AIX 5.2
		6.5.x	IBM AIX 5.1
			Windows Server 2003
			Windows 2000 Server
6.5.x	1.2.3	6.5.x	IBM AIX 5.2
			IBM AIX 5.1
			Windows Server 2003
			Windows 2000 Server

Domino 関連要件の詳細については、次の各項を参照してください。

- [Active Directory の要件 \(P.13\)](#)
- [ネットワーク要件 \(P.14\)](#)
- [メッセージストア クラスタリングの使用要件 \(P.17\)](#)
- [Domino パーティショニングの要件 \(P.17\)](#)

Exchange 要件 : メッセージストア

メッセージストアとしての Exchange は、次に示す必要なソフトウェアとともに、次のような Cisco Unity 7.x のコンフィギュレーションでサポートされます。

ユニファイド メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> • 別個のサーバ上での Exchange 2007 • 別個のサーバ上での Exchange 2003 • 別個のサーバ上での Exchange 2000
ボイス メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity サーバ、または別個のサーバ上での Exchange 2003 • Cisco Unity サーバ、または別個のサーバ上での Exchange 2000 (Cisco Unity 4.x または 5.x からアップグレードしたシステムのみ。Cisco Unity サーバでも別個のサーバでも、ボイス メッセージ コンフィギュレーションへの Exchange 2000 の新規インストールはサポートされません)

- Microsoft Exchange Server のサポートされるバージョンは次のとおりです。
 - Exchange Server 2007 Enterprise Edition
 - Exchange Server 2007 Standard Edition
 - Exchange Server 2003 Enterprise Edition
 - Exchange Server 2003 Standard Edition
 - Microsoft Exchange Server 2003 Enterprise Edition の Voice Mail Run-Time Edition
 Cisco Unity には、ボイス メッセージ コンフィギュレーション専用として、このバージョンが付属しています。

- Exchange 2000 Server Enterprise Edition
ユニファイドメッセージ コンフィギュレーションでは、すべての 7.x の新規インストールとアップグレードでサポートされます。ボイスメッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity 4.x または 5.x からアップグレードしたシステムでのみサポートされます。Windows Server 2003 を Cisco Unity サーバにインストールした場合、Exchange 2000 がメッセージ ストアとしてサポートされるのは、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみです。
- Exchange 2000 Server Standard Edition
ユニファイドメッセージ コンフィギュレーションでは、すべての 7.x の新規インストールとアップグレードでサポートされます。ボイスメッセージ コンフィギュレーションでは、Cisco Unity 4.x または 5.x からアップグレードしたシステムでのみサポートされます。Windows Server 2003 を Cisco Unity サーバにインストールした場合、Exchange 2000 がメッセージ ストアとしてサポートされるのは、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみです。
- Microsoft Exchange 2000 Server Enterprise Edition の Voice Mail Run-Time Edition
Cisco Unity には、Cisco Unity 4.x または 5.x からアップグレードしたシステムのボイスメッセージ コンフィギュレーション専用として、このバージョンが付属しています。Windows Server 2003 を Cisco Unity サーバにインストールした場合、Exchange 2000 がメッセージ ストアとしてサポートされるのは、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみです。
- Exchange 2000 Conferencing Server
Cisco Unity 4.x または 5.x からアップグレードしたシステムのユニファイドメッセージ コンフィギュレーションでのみサポートされます。Windows Server 2003 を Cisco Unity サーバにインストールした場合、Exchange 2000 がメッセージ ストアとしてサポートされるのは、Exchange Server 2003 サーバがパートナー Exchange サーバとして使用可能な場合のみです。

お客様は、Exchange のお客様ご自身のコピーを準備する必要があります (Cisco Unity に付属する Exchange 2003 または Exchange 2000 の Voice Mail Run-Time Edition をお客様が使用している場合を除きます)

ユーザが Exchange 2007 をホームにしている場合、および：

- Cisco Unity Trusted Internet ユーザを作成する場合、または
- AMIS、Cisco Unity Bridge、または VPIM を使用して Cisco Unity と別のボイスメッセージ システムを統合する場合

Microsoft Exchange 用の Cisco Unity Voice Connector のフォレストに Exchange 2003 または Exchange 2000 サーバを保持する必要があります。Voice Connector のバージョンは現在、Exchange 2007 では使用できません。

フェールオーバーが構成され、Cisco Unity が Unified Messaging として構成されている場合は、プライマリ サーバおよびセカンダリ サーバとは別のサーバに Exchange をインストールする必要があります。メッセージ ストアには、(Voice Mail Run-Time Edition を除き) サポートされている任意のバージョンの Exchange を使用できます。

フェールオーバーが構成され、Cisco Unity がボイスメッセージとして構成されている場合は、プライマリ サーバおよびセカンダリ サーバとは別のサーバまたはセカンダリ サーバに Exchange をインストールする必要があります。次のことに注意してください。

- Exchange を別個のサーバにインストールする場合は、サポートされているどのバージョンの Exchange でもインストールできます。
- Exchange をセカンダリ サーバにインストールする場合は、Exchange Server 2003 をインストールする必要があります。また、Cisco Unity ユーザの数が制限されます。このコンフィギュレーションでサポートされるユーザの最大数については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。

P.18 の「Cisco Unity フェールオーバーの要件」も参照してください。

- Exchange 2003 または Exchange 2000 の Voice Mail Run-Time Edition を備えた Cisco Unity ボイスメッセージを除き、すべてのコンフィギュレーションについて、Client Access Licenses (CAL) を購入する必要があります。
- 「サービス パックの最小要件：メッセージ ストア」の項に示されているサービス パック。Exchange サービス パックを Cisco Unity サーバ以外のサーバにインストールする場合は、Microsoft の Web サイトを参照してください。

サービス パックの最小要件：メッセージ ストア

- Exchange 2003 Service Pack 2 :
 - Cisco Unity サーバに Exchange 2003 ソフトウェアがインストールされている場合は、そのサーバに適用します。
 - ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、別個の Exchange 2003 サーバに適用しません (該当するサーバがある場合)。
- Exchange 2000 Service Pack 3 :
 - Cisco Unity サーバに Exchange 2000 ソフトウェアがインストールされている場合は、そのサーバに適用します。
 - ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、別個の Exchange 2000 サーバに適用しません (該当するサーバがある場合)。
- Exchange 2000 Post-Service Pack 3 Update Rollup :
 - Cisco Unity サーバに Exchange 2000 ソフトウェアがインストールされている場合は、そのサーバに適用します。
 - ボイス メッセージ コンフィギュレーションでは、別個の Exchange 2000 サーバに適用しません (該当するサーバがある場合)。

Cisco Unity Server Updates ウィザードを実行して Exchange 用の Microsoft アップデートのインストールを選択すると、ロールアップ (Microsoft のサポート技術情報 (Knowledge Base) 870540 を参照) は自動的にインストールされます。

後述の「推奨するサービス パック：メッセージ ストア」の項に示されている Exchange サービス パックで、Cisco Unity サーバやメッセージ ストア サーバを適切にアップデートすることを推奨します。この項に記載されている最低限必要なサービス パックよりも新しいサービス パックもあります。また、Microsoft が毎月リリースするセキュリティ アップデートを使用して、Cisco Unity をアップデートすることを推奨します。

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/updates/wizard/cuupwz.html にある『Software Installed by the Cisco Unity Server Updates Wizard』を参照してください。

推奨するサービス パック：メッセージ ストア

- Exchange 2007 Service Pack 1

サポート情報については、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/7x/support/7xcusupp.html にある『Cisco Unity 7.x サポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー』の「Microsoft サービス パックおよびアップデートについてのサポート ポリシー」の項を参照してください。



(注)

Exchange が別個のサーバにインストールされている Cisco Unity コンフィギュレーションでは、Cisco Unity システムをインストールする前に、メッセージ ストア環境がすでに設定され稼働していることが前提となります。

Exchange 関連要件の詳細については、次の各項を参照してください。

- [Active Directory の要件 \(P.13 \)](#)
- [ネットワーク要件 \(P.14 \)](#)
- [メッセージストア クラスタリングの使用要件 \(P.17 \)](#)

ソフトウェア要件：ユーザワークステーション

次の必要なソフトウェアの互換性のあるバージョンについては、

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/compatibility/matrix/cuclientmtx.html にある『互換性マトリクス: Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるオペレーティング システム。次の場合に、互換性のあるオペレーティング システムが必要です。
 - Cisco Unity サーバをユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにインストールして、ユーザが Cisco Unity ViewMail for Microsoft Outlook または Lotus Notes と DUC for Cisco を使用してボイス メッセージにアクセスする場合。
 - ユーザが Cisco Personal Communications Assistant (PCA) にアクセスする場合。ユーザは Cisco PCA を介して Cisco Unity Assistant と Cisco Unity Inbox にアクセスします。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるメール クライアント。互換性のあるメール クライアントは、Cisco Unity サーバをユニファイド メッセージ コンフィギュレーションにインストールして、ユーザが ViewMail for Outlook または Lotus Notes と DUC for Cisco を使用してボイス メッセージにアクセスする場合に必要です。
- インストールする Cisco Unity のバージョンと互換性のあるインターネット ブラウザ。互換性のあるブラウザは、ユーザが Cisco PCA にアクセスする場合に必要です。

サードパーティ製ソフトウェアの言語要件

P.12 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」に記載されるアプリケーションの言語要件は、Cisco Unity サーバ上の Windows のロケールによって決まります。



注意

Cisco Unity Server Updates ウィザードを使用して Windows、SQL Server 2000 または MSDE 2000、Internet Explorer、および Exchange 用の Microsoft アップデートをインストールするには、それらのアプリケーションの英語版をインストールする必要があります。別の言語でインストールする場合は、Microsoft の Web サイトから Microsoft アップデートをダウンロードする必要があります。

表 2 に、French、German、Japanese、および U.S. English の各ロケールに必要な言語を示します。この表に記載のないロケールについては、すべてのソフトウェアにアメリカ英語バージョンが必要です。

Cisco Unity サーバ上のロケールは、インストール済みの Cisco Unity の言語の 1 つと一致させる必要があります。たとえば、ロケールに French を選択している場合、フランス語の Cisco Unity システム プロンプトセットもインストールする必要があります。

表 2 サードパーティ製ソフトウェアの言語要件

Windows のロケール (Cisco Unity サーバ上)	サードパーティ製ソフトウェアの言語要件
French	<p>次の 3 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.12 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にフランス語バージョンが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : フランス語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要
German	<p>次の 3 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.12 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にドイツ語バージョンが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : ドイツ語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要
Japanese	<p>次の 3 つのアプリケーションを除くすべてのソフトウェア (P.12 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) に日本語バージョンが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : 日本語またはアメリカ英語が必要 Microsoft MSXML : アメリカ英語が必要 Microsoft MDAC : アメリカ英語が必要
U.S. English	<p>すべてのソフトウェア (P.12 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にアメリカ英語バージョンが必要です。</p>
この表に記載のないロケール	<p>すべてのソフトウェア (P.12 の「サードパーティ製ソフトウェアのリスト」を参照) にアメリカ英語バージョンが必要です。</p>

サードパーティ製ソフトウェアのリスト

Cisco Unity サーバ上の Windows のロケールによっては、表 2 に示す言語で次のソフトウェアをインストールする必要があります。

- Cisco Unity ViewMail for Microsoft Outlook
- IBM Lotus Domino
- IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco
- IBM Lotus Notes
- Microsoft Exchange
- Microsoft Internet Explorer
- Microsoft MDAC
- Microsoft MSXML
- Microsoft Outlook
- Microsoft SQL Server または MSDE
- Microsoft Windows

Active Directory の要件

次の各項を参照してください。

- [Active Directory の要件 : Cisco Unity ユニファイド メッセージ \(P.13\)](#)
- [Active Directory の要件 : Cisco Unity ボイス メッセージ \(P.13\)](#)
- [Active Directory の要件 : Cisco Unity 音声認識サーバ \(P.13\)](#)

ユニファイド メッセージおよびボイス メッセージのコンフィギュレーションの特徴については、P.28 の「[Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴](#)」を参照してください。

Active Directory の要件 : Cisco Unity ユニファイド メッセージ

Cisco Unity サーバは、通常、Active Directory 2003 ドメインまたは Active Directory 2000 ドメインのメンバサーバになります。以前は混合モードとネイティブモードと呼ばれていたレベルも含め、ドメインとフォレストのすべての機能レベルがサポートされます。

Exchange がメッセージストアである場合、Cisco Unity ユーザ用のメールボックスは、フォレスト内の任意のドメインの Exchange サーバをホームとすることができます。

Active Directory の要件 : Cisco Unity ボイス メッセージ

Cisco Unity サーバは、サーバ自身の Active Directory 2003 ドメインまたは Active Directory 2000 ドメインのドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバ (DC/GC)、あるいは既存の Active Directory 2003 ドメインまたは Active Directory 2000 ドメインのメンバサーバです。以前は混合モードとネイティブモードと呼ばれていたレベルも含め、ドメインとフォレストのすべての機能レベルがサポートされます。

Exchange がメッセージストアである場合、Cisco Unity ユーザ用のメールボックスは、フォレスト内の任意のドメインの Exchange サーバをホームとすることができます。

Active Directory の要件 : Cisco Unity 音声認識サーバ

Cisco Unity 音声認識サーバは、ワークグループ サーバまたは Cisco Unity サーバと同じドメイン内のメンバサーバです。音声認識サーバをドメイン コントローラまたはグローバル カタログ サーバにすることはできません。

ネットワーク要件

次の各項を参照してください。

- ネットワーク要件：Cisco Unity ユニファイドメッセージ (P.14)
- ネットワーク要件：Cisco Unity ボイス メッセージ (P.15)

ユニファイド メッセージおよびボイス メッセージのコンフィギュレーションの特徴については、P.28 の「Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴」を参照してください。

ネットワーク要件：Cisco Unity ユニファイド メッセージ

Cisco Unity サーバがメッセージ ストア、ディレクトリ、およびネットワーク ユーティリティにアクセスできるようにするには、サーバがネットワークに接続される必要があります。

- 最低 100 Mbps の接続。
- ファイアウォールを設定する際は、次の点に注意してください。

IBM Lotus Domino がメッセージ ストアである場合は、Cisco Unity サーバを次のものからファイアウォールで分離することはできません。

- Cisco Unity ユーザのメールボックスがある Domino サーバ。
- Cisco Unity がディレクトリへの変更を監視する Domino サーバ。
- Cisco Unity がボイス メッセージを送信する Domino サーバ (この Domino サーバは、IBM Lotus Notes を Cisco Unity サーバにインストールするときに、インストーラによって指定されるサーバです。Cisco Unity は、このサーバ上の Mail.box にすべてのボイス メッセージを配信してルーティングします)。
- Cisco Unity のインストール アカウントとサービス アカウントが作成されるドメイン コントローラ。

Microsoft Exchange がメッセージ ストアである場合は、Cisco Unity サーバを次のものからファイアウォールで分離することはできません。

- パートナー Exchange サーバ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
- Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。

また、パートナー Exchange サーバは、パートナー サーバが通信するドメイン コントローラとグローバル カタログ サーバからファイアウォールで分離することはできません。

フェールオーバーとスタンバイ冗長性のファイアウォール要件については、次の各項を参照してください。

- Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のフェールオーバー要件 (P.20)
- Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のスタンバイ冗長性要件 (P.24)

ファイアウォールを使用して Cisco Unity サーバを Cisco Unity 音声認識サーバから分離することはできません。

Cisco Unity とその他のサーバ間の通信を許可するためにファイアウォールで開く必要のある TCP/UDP ポートの詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある『Cisco Unity セキュリティ ガイド 5.x』の「Cisco Unity で必要となる IP 通信」の章を参照してください (5.x の内容はすべてバージョン 7.x にも適用されます)。

- Cisco Unity サーバは、高速 IP ネットワークを介し、最小の伝搬遅延とコンポーネント間のトラブルシューティングを保証する適切なサービス品質で以下に示すサーバに接続する必要があります。

Domino がメッセージ ストアである場合：

- Cisco Unity がプライマリ ユーザ アドレス ブックからのユーザおよびリストのインポートと、Domino ディレクトリへの変更の監視に使用する Domino サーバ。

- Cisco Unity がボイス メッセージを送信する Domino サーバ。
- Cisco Unity ユーザのメールボックスがある Domino サーバ。

Exchange がメッセージストアである場合：

- パートナー Exchange サーバ。
- Cisco Unity ユーザのメールボックスがある Exchange サーバ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
- Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。
- Cisco Unity サーバにデュアル NIC が存在する場合は、1 つの IP アドレスを使用するフォールトトレランスにこの 2 つの NIC を設定するか、どちらか 1 つの NIC を無効化する必要があります。個別の IP アドレスを持つ 2 つの NIC に対するネットワーク負荷バランシング構成は、サポートされていません。
- Cisco Unity が Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) に WAN を通じて接続する場合、WAN ネットワーク接続における要件は次のとおりです。
 - G.729a コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 32.76 Kbps の保証帯域幅。
 - G.711 コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 91.56 Kbps の保証帯域幅。
 - ネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するネットワーク デバイスがないこと。

ネットワーク要件：Cisco Unity ボイス メッセージ

多くのボイス メッセージ コンフィギュレーションの場合、Cisco Unity サーバがメッセージストア、ディレクトリ、およびネットワーク ユーティリティにアクセスできるようにするには、サーバがネットワークに接続される必要があります。この唯一の例外は、Exchange 2003 または Exchange 2000 が Cisco Unity サーバにインストールされている場合や、Cisco Unity サーバが独自のフォレスト内のドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバである場合、フェールオーバーが設定されていない場合、および Cisco Unity がボイス カードを使用する電話システムと連動している場合です。このような構成においては、ネットワーク接続は不要です。

- ネットワーク接続がある場合、最小のネットワーク接続で最低 10 Mbps が必要です。
- ファイアウォールを設定する際は、次の点に注意してください。

IBM Lotus Domino がメッセージストアである場合は、Cisco Unity サーバを次のものからファイアウォールで分離することはできません。

- Cisco Unity ユーザのメールボックスがある Domino サーバ。
- Cisco Unity がディレクトリへの変更を監視する Domino サーバ。
- Cisco Unity がボイス メッセージを送信する Domino サーバ (この Domino サーバは、IBM Lotus Notes を Cisco Unity サーバにインストールするときに、インストーラによって指定されるサーバです。Cisco Unity は、このサーバ上の Mail.box にすべてのボイス メッセージを配信してルーティングします) 。
- Cisco Unity のインストール アカウントとサービス アカウントが作成されるドメイン コントローラ。

Microsoft Exchange がメッセージストアである場合は、Cisco Unity サーバを次のものからファイアウォールで分離することはできません。

- パートナー Exchange サーバ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
- Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。

また、パートナー Exchange サーバは、パートナー サーバが通信するドメイン コントローラとグローバル カタログ サーバからファイアウォールで分離することはできません。

フェールオーバーとスタンバイ冗長性のファイアウォール要件については、次の各項目を参照してください。

- Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のフェールオーバー要件 (P.20)
- Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のスタンバイ冗長性要件 (P.24)

ファイアウォールを使用して Cisco Unity サーバを Cisco Unity 音声認識サーバから分離することはできません。

Cisco Unity とその他のサーバ間の通信を許可するためにファイアウォールで開く必要のある TCP/UDP ポートの詳細については、

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある『Cisco Unity セキュリティ ガイド 5.x』の「Cisco Unity で必要となる IP 通信」の章を参照してください (5.x の内容はすべてバージョン 7.x にも適用されます)。

- Cisco Unity サーバは、高速 IP ネットワークを介し、最小の伝搬遅延とコンポーネント間のトラフィックを保証する適切なサービス品質で以下に示すサーバに接続する必要があります。

Domino がメッセージストアである場合：

- Cisco Unity がプライマリ ユーザ アドレス ブックからのユーザおよびリストのインポートと、Domino ディレクトリへの変更の監視に使用する Domino サーバ。
- Cisco Unity がボイス メッセージを送信する Domino サーバ。
- Cisco Unity ユーザのメールボックスがある Domino サーバ。

Exchange がメッセージストアである場合：

- パートナー Exchange サーバ。
- Cisco Unity ユーザのメールボックスがある Exchange サーバ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
- Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
- Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。

- Cisco Unity サーバにデュアル NIC が存在する場合は、1 つの IP アドレスを使用するフォールトトレランスにこの 2 つの NIC を設定するか、どちらか 1 つの NIC を無効化する必要があります。個別の IP アドレスを持つ 2 つの NIC に対するネットワーク負荷バランシング構成は、サポートされていません。
- Cisco Unity が Intel PBX-IP Media Gateway (PIMG) に WAN を通じて接続する場合、WAN ネットワーク接続における要件は次のとおりです。
 - G.729a コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 32.76 Kbps の保証帯域幅。
 - G.711 コーデック形式について、各ボイス メッセージ ポートで最低 91.56 Kbps の保証帯域幅。
 - ネットワークアドレス変換 (NAT) を実装するネットワーク デバイスがないこと。

メッセージストア クラスタリングの使用要件

次の各項を参照してください。

- [Domino 要件：メッセージストア クラスタリング \(P.17\)](#)
- [Exchange 要件：メッセージストア クラスタリング \(P.17\)](#)

Domino 要件：メッセージストア クラスタリング

- 同じ Domino サーバ上または別個の Domino サーバ上のクラスタリングがサポートされています (同じ Domino サーバ上のクラスタリングは、Domino パーティショニングの使用を前提としています。P.17 の「[Domino パーティショニングの要件](#)」も参照してください)。
- csServer (IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco のサーバ コンポーネント) を、Cisco Unity ユーザのメール ファイルがある、クラスタ化されたサーバすべてにインストールする必要があります。

Exchange 要件：メッセージストア クラスタリング

Exchange クラスタでユーザにサービスを提供する場合、Cisco Unity には次の要件があります。

- Exchange 2003 クラスタリングはサポートされる。
- Exchange 2000 クラスタリングはサポートされる。
- Exchange クラスタのサーバに Cisco Unity をインストールしない。
- Exchange クラスタのサーバに Microsoft Exchange 用の Cisco Unity Voice Connector をインストールしない。

Exchange 2007 クラスタリングはサポートされません。Exchange 2007 クラスタリングを使用する場合は、Cisco Unity 5.0 を使用する必要があります。Exchange 2007 クラスタリングのサポートについては、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_installation_guides_list.html にある『Cisco Unity システム要件 5.0』を参照してください。

Exchange クラスタをホームとする Cisco Unity ユーザのメールボックスがサポートされます。ただし、クラスタ化された Exchange サーバを運用するには、特別なハードウェア (シスコ非提供品) と、Windows および Exchange クラスタリングの高度な知識が必要です。シスコから Exchange クラスタのコンフィギュレーションまたはサポートに関するヘルプは提供されないため、お客様ご自身で Exchange クラスタのサポートを入手してください。

Domino パーティショニングの要件

各パーティションは固有の IP アドレスを持つ必要があります。Domino パーティショニングの設定と使用については、IBM Domino のドキュメントを参照してください。

Cisco Unity フェールオーバーの要件

次の各項を参照してください。

- メッセージ ストアが別個のプラットフォームにインストールされている場合のフェールオーバー要件 (P.18)
- メッセージ ストアがセカンダリ Cisco Unity サーバにインストールされている場合のフェールオーバー要件 (P.19)
- Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のフェールオーバー要件 (P.20)
- ファイアウォールを使用して Cisco Unity サーバを音声認識サーバから分離する場合のフェールオーバー要件 (P.20)
- Cisco Unity サーバを別のビルディングや場所に設置する場合のフェールオーバー要件 (P.21)



(注) スタンバイ冗長性の要件については、P.22 の「スタンバイ冗長性の要件」を参照してください。

メッセージストアが別個のプラットフォームにインストールされている場合のフェールオーバー要件

- 両方の Cisco Unity サーバが、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていて、同一のプラットフォームオーバーレイに属している必要があります。
- ネットワークは P.14 の「ネットワーク要件」に記載されている要件を満たしている必要があります。
- 一方の Cisco Unity サーバをプライマリ サーバ、もう一方の Cisco Unity サーバをセカンダリサーバに指定します。
- 両方の Cisco Unity サーバを同じ Active Directory ドメインのメンバサーバにする必要があります。どちらの Cisco Unity サーバにも Active Directory をインストールしないでください。
- 異なるロケーションにサーバが設置されている場合、各ロケーションにドメイン コントローラ / グローバル カタログ サーバが設置されている必要があります。
- どちらの Cisco Unity サーバも名前の最初の 14 文字が固有である必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同じメッセージストアサーバと通信する必要があります。
- Exchange がメッセージストアである場合は、プライマリ サーバおよびセカンダリサーバに Exchange 管理ソフトウェアをインストールする必要があります。Exchange サーバは、Cisco Unity サーバ以外のコンピュータにインストールする必要があります。
- IBM Lotus Domino がメッセージストアである場合は、両方の Cisco Unity サーバに Lotus Notes をインストールする必要があります。その他すべての IBM Lotus ソフトウェアは Cisco Unity サーバ以外のコンピュータにインストールする必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同じ電話システムに接続する必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバで、同一の機能とコンフィギュレーションが使用可能である必要があります。
- SQL Server 2000 Standard Edition は必ずプライマリ サーバとセカンダリサーバの両方にインストールする必要があります。MSDE 2000 は、Cisco Unity フェールオーバーを使用する場合、どちらのサーバでもサポートされません。
- Cisco Unity と SQL Server 2000 は、プライマリ サーバとセカンダリサーバの両方に、同一のドメイン アカウントでインストールする必要があります。

- 両方の Cisco Unity サーバ上の MSSQLSERVER サービスおよび SQLSERVERAGENT サービスは、同一のドメイン アカウントとしてログオンするよう設定する必要があります。また、アカウントは各サーバ上の Local Administrators グループに属する必要があります。プライマリ サーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用してセカンダリ サーバ上の SQL Server にログイン可能にする必要があります。
- プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方で、すべてのソフトウェアを同一のドライブおよびディレクトリにインストールする必要があります。

メッセージストアがセカンダリ Cisco Unity サーバにインストールされている場合のフェールオーバー要件



注意

メッセージストアが別個のプラットフォームにインストール済みの場合は、Exchange をセカンダリ Cisco Unity サーバに移動するように既存の Cisco Unity フェールオーバー システムを再設定しないでください。再設定すると、Cisco Unity フェールオーバー システムはサポートされません。セカンダリ サーバで Exchange を設定できる唯一の方法は、フェールオーバーとともに Cisco Unity を新規インストールすることです。

- 両方の Cisco Unity サーバが、
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていて、同一のプラットフォームオーバーレイに属している必要があります。
- ネットワークは P.14 の「ネットワーク要件」に記載されている要件を満たしている必要があります。
- 一方の Cisco Unity サーバをプライマリ サーバ、もう一方の Cisco Unity サーバをセカンダリサーバに指定します。
- Active Directory ドメインでは、次のいずれかのコンフィギュレーションを使用する必要があります。
 - 両方の Cisco Unity サーバが同じ Active Directory ドメインのメンバサーバである。
 - セカンダリサーバがドメインコントローラで、プライマリサーバがセカンダリサーバドメイン内のメンバサーバである。
- 異なるロケーションにサーバが設置されている場合、各ロケーションにドメインコントローラ / グローバルカタログサーバが設置されている必要があります。
- どちらの Cisco Unity サーバも名前最初の 14 文字が固有である必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同じメッセージストアサーバと通信する必要があります。
- Exchange サーバ 2003 管理ソフトウェアはプライマリサーバにインストールする必要があります。
- Exchange サーバ 2003 はセカンダリサーバにインストールする必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同じ電話システムに接続する必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバで、同一の機能とコンフィギュレーションが使用可能である必要があります。
- Cisco Unity はボイスメッセージとして設定する必要があります。このコンフィギュレーションでサポートされるユーザの最大数については、
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。
- SQL Server 2000 Standard Edition は必ずプライマリサーバとセカンダリサーバの両方にインストールする必要があります。MSDE 2000 は、Cisco Unity フェールオーバーを使用する場合、どちらのサーバでもサポートされません。

- Cisco Unity と SQL Server 2000 は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方に、同一のドメイン アカウントでインストールする必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバ上の MSSQLSERVER サービスおよび SQLSERVERAGENT サービスは、同一のドメイン アカウントとしてログオンするよう設定する必要があります。また、アカウントは各サーバ上の Local Administrators グループに属する必要があります。プライマリ サーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用してセカンダリ サーバ上の SQL Server にログイン可能にする必要があります。
- プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方で、すべてのソフトウェアを同一のドライブおよびディレクトリにインストールする必要があります。

Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のフェールオーバー要件

- メッセージストアは Exchange である必要があります。



注意

IBM Lotus Domino がメッセージストアである場合は、Cisco Unity サーバを、もう一方の Cisco Unity サーバ、Domino メッセージストア サーバ、または Cisco Unity のインストール アカウントとサービス アカウントが作成されたドメイン コントローラから、ファイアウォールで分離することはできません。そうすると、Cisco Unity が正しく機能しなくなる可能性があります。

- ネットワークは P.14 の「ネットワーク要件」に記載されている要件を満たしている必要があります。
- Exchange は、セカンダリ サーバにインストールすることはできません。
- プライマリ サーバは、次のものからファイアウォールで分離することはできません。
 - パートナー Exchange サーバ。
 - Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
 - Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
 - Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。
- パートナー Exchange サーバは、パートナー サーバが通信するドメイン コントローラとグローバル カタログ サーバからファイアウォールで分離することはできません。
- Cisco Unity フェールオーバーの設計では、通常はプライマリ サーバがアクティブ サーバになっていることを前提としています。セカンダリ サーバをアクティブ サーバとして使用するのには、短期間に限定する必要があります。プライマリ サーバの問題を迅速に解決し、可能な限り早期にプライマリ サーバをアクティブ サーバに戻す必要があります。
- Cisco Unity プライマリ サーバまたはセカンダリ サーバを、ファイアウォールで相互に分離したり他のサーバから分離したりする場合は、適切な TCP ポートと UDP ポートをファイアウォールで開いておく必要があります。Cisco Unity およびその他のサーバが使用する TCP/UDP ポートの詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある『Cisco Unity セキュリティ ガイド 5.x』の「Cisco Unity で必要となる IP 通信」の章を参照してください (5.x の内容はすべてバージョン 7.x にも適用されます)。

ファイアウォールを使用して Cisco Unity サーバを音声認識サーバから分離する場合のフェールオーバー要件

ファイアウォールから見て、Cisco Unity サーバは Cisco Unity 音声認識サーバと同じ側に配置する必要があります。

Cisco Unity サーバを別のビルディングや場所に設置する場合のフェールオーバー要件

- Cisco Unity サーバ間には 2 つの接続パスを設定する必要があります。
- 各接続パスは、定常状態の輻輳が発生しないギガビット以上の速度にする必要があります。
- 最大ラウンドトリップ遅延は 10 ミリ秒以下にする必要があります。固定ネットワーク遅延は 5 ミリ秒以下がベスト プラクティスです。
- Cisco Unity サーバはファイアウォールで分離することはできません。
- Microsoft Exchange がメッセージストアである場合は、Cisco Unity サーバを次のものからファイアウォールで分離することはできません。
 - パートナー Exchange サーバ。
 - Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
 - Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
 - Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。
- パートナー Exchange サーバは、パートナー サーバが通信するドメイン コントローラとグローバル カタログ サーバからファイアウォールで分離することはできません。
- IBM Lotus Domino がメッセージストアである場合は、Cisco Unity サーバを次のものからファイアウォールで分離することはできません。
 - もう一方の Cisco Unity サーバ。
 - Domino メッセージストア サーバ。
 - Cisco Unity のインストール アカウントとサービス アカウントが作成されたドメイン コントローラ。
- Cisco Unity サーバを他のサーバからファイアウォールで分離する場合は、適切な TCP ポートと UDP ポートをファイアウォールで開いておく必要があります。Cisco Unity およびその他のサーバが使用する TCP/UDP ポートの詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある『Cisco Unity セキュリティ ガイド』の「Cisco Unity で必要となる IP 通信」の章を参照してください。

スタンバイ冗長性の要件



(注) フェールオーバー要件については、P.18 の「Cisco Unity フェールオーバーの要件」を参照してください。

次の各項を参照してください。

- [メッセージ ストアが別個のプラットフォームにインストールされている場合のスタンバイ冗長性要件 \(P.22\)](#)
- [Exchange Server 2003 がプライマリ Cisco Unity サーバにインストールされている場合のスタンバイ冗長性要件 \(P.23\)](#)
- [Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のスタンバイ冗長性要件 \(P.24\)](#)

メッセージストアが別個のプラットフォームにインストールされている場合のスタンバイ冗長性要件

- 両方の Cisco Unity サーバが、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていて、同一のプラットフォームオーバーレイに属している必要があります。
- プライマリ Cisco Unity サーバとセカンダリ Cisco Unity サーバの間に最低 90 Mbps の接続が必要です。
- ネットワークは [P.14 の「ネットワーク要件」](#)に記載されている要件を満たしている必要があります。
- 一方の Cisco Unity サーバをプライマリ サーバ、もう一方の Cisco Unity サーバをセカンダリ(またはスタンバイ)サーバに指定します。
- 両方の Cisco Unity サーバを同じ Active Directory ドメインのメンバサーバにする必要があります。どちらの Cisco Unity サーバにも Active Directory をインストールしないでください。
- どちらの Cisco Unity サーバも名前の最初の 14 文字が固有である必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同じメッセージストアサーバと通信する必要があります。
- Exchange がメッセージストアである場合：
 - Exchange 管理ソフトウェアは、プライマリ サーバとセカンダリ サーバにインストールする必要があります。
 - Exchange サーバは、Cisco Unity サーバ以外のコンピュータにインストールする必要があります。
 - プライマリ Cisco Unity サーバは、パートナー Exchange サーバと同じ LAN に配置する必要があります。
- IBM Lotus Domino がメッセージストアである場合は、両方の Cisco Unity サーバに Lotus Notes をインストールする必要があります。その他すべての IBM Lotus ソフトウェアは Cisco Unity サーバ以外のコンピュータにインストールする必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバが同じ電話システムに接続する必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバで、同一の機能とコンフィギュレーションが使用可能である必要があります。
- SQL Server 2000 Standard Edition は必ずプライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方にインストールする必要があります。MSDE 2000 は、Cisco Unity スタンバイ冗長性を使用する場合、どちらのサーバでもサポートされません。
- Cisco Unity と SQL Server 2000 は、プライマリ サーバとセカンダリ サーバの両方に、同一のドメイン アカウントでインストールする必要があります。

- 両方の Cisco Unity サーバ上の MSSQLSERVER サービスおよび SQLSERVERAGENT サービスは、同一のドメイン アカウントとしてログオンするよう設定する必要があります。また、アカウントは各サーバ上の Local Administrators グループに属する必要があります。プライマリサーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用してセカンダリサーバ上の SQL Server にログイン可能にする必要があります。
- プライマリサーバとセカンダリサーバの両方で、すべてのソフトウェアを同一のドライブおよびディレクトリにインストールする必要があります。

Exchange Server 2003 がプライマリ Cisco Unity サーバにインストールされている場合のスタンバイ冗長性要件



注意

メッセージストアが別個のプラットフォームにインストール済みの場合は、Exchange をプライマリ Cisco Unity サーバに移動するように既存の Cisco Unity システムを再設定しないでください。再設定すると、Cisco Unity スタンバイ冗長性システムはサポートされません。プライマリサーバで Exchange を設定できる唯一の方法は、スタンバイ冗長性ととも Cisco Unity を新規インストールすることです。

- この設定がサポートされるのは、Cisco Unity がボイスメッセージコンフィギュレーションにインストールされている場合のみです。
- 一方の Cisco Unity サーバをプライマリサーバ、もう一方の Cisco Unity サーバをセカンダリ(またはスタンバイ)サーバに指定します。
- 両方の Cisco Unity サーバが、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』に記載されていて、同一のプラットフォームオーバーレイに属している必要があります。
- プライマリ Cisco Unity サーバとセカンダリ Cisco Unity サーバの間に 100 Mbps の接続が必要です。
- ネットワークは P.14 の「ネットワーク要件」に記載されている要件を満たしている必要があります。
- Cisco Unity サーバを既存のフォレストにインストールする場合は、両方のデータセンターに 1 台以上の DC/GC と 1 台以上の DNS サーバを設置する必要があります。
Cisco Unity サーバを新規フォレストにインストールする場合は、両方が同じ Active Directory ドメインの DC/GC である必要があります。
- どちらの Cisco Unity サーバも名前は 14 文字以下にする必要があります。
- Exchange サーバ 2003 管理ソフトウェアは、セカンダリサーバにインストールする必要があります。
- 両方の Cisco Unity サーバで、同一の機能とコンフィギュレーションが使用可能である必要があります。
- SQL Server 2000 Standard Edition は、両方の Cisco Unity サーバにインストールする必要があります。MSDE 2000 は、Cisco Unity スタンバイ冗長性を使用する場合、どちらのサーバでもサポートされません。
- 両方の Cisco Unity サーバ上の SQL Server 2000 の MSSQLSERVER サービスおよび SQLSERVERAGENT サービスは、同一のドメイン アカウントとしてログオンするよう設定する必要があります。また、アカウントは各サーバ上の Local Administrators グループに属する必要があります。プライマリサーバ上の SQLSERVERAGENT は、Windows NT の認証を使用してセカンダリサーバ上の SQL Server にログイン可能にする必要があります。
- 両方の Cisco Unity で、すべてのソフトウェアを同一のドライブおよびディレクトリにインストールする必要があります。

Cisco Unity サーバをファイアウォールで分離する場合のスタンバイ冗長性要件

- メッセージストアは Exchange である必要があります。



注意

IBM Lotus Domino がメッセージストアである場合は、Cisco Unity サーバを、もう一方の Cisco Unity サーバ、Domino メッセージストア サーバ、または Cisco Unity のインストール アカウントとサービス アカウントが作成されたドメイン コントローラから、ファイアウォールで分離しないでください。そうすると、Cisco Unity が正しく機能しなくなる可能性があります。

- ネットワークは「[ネットワーク要件](#)」の項に記載されている要件を満たしている必要があります。
- ファイアウォールから見て、プライマリ サーバは次のものと同じ側に配置する必要があります。
 - パートナー Exchange サーバ。
 - Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するドメイン コントローラ。
 - Cisco Unity がディレクトリ アップデートを監視するグローバル カタログ サーバ。
 - Cisco Unity MAPI クライアントが通信するグローバル カタログ サーバ。
- パートナー Exchange サーバは、パートナー サーバが通信するドメイン コントローラとグローバル カタログ サーバからファイアウォールで分離することはできません。
- Cisco Unity スタンバイ冗長性の設計では、通常はプライマリ サーバがアクティブ サーバになっていることを前提としています。セカンダリ サーバをアクティブ サーバとして使用するのには、短期間に限定する必要があります。プライマリ サーバの問題を迅速に解決し、可能な限り早期にプライマリ サーバをアクティブ サーバに戻す必要があります。
- Cisco Unity プライマリ サーバまたはセカンダリ サーバを、ファイアウォールで相互に分離したり他のサーバから分離したりする場合は、適切な TCP ポートと UDP ポートをファイアウォールで開いておく必要があります。Cisco Unity およびその他のサーバが使用する TCP/UDP ポートの詳細については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_maintenance_guides_list.html にある『Cisco Unity セキュリティ ガイド 5.x』の「Cisco Unity で必要となる IP 通信」の章を参照してください (5.x の内容はすべてバージョン 7.x にも適用されます)。

Cisco Unity Phone View の要件

- サポートされるバージョンの Cisco Unified Communications Manager と連動する Cisco Unity。互換性については、http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_device_support_tables_list.html にある『SCCP 互換性マトリクス : Cisco Unity、Cisco Unity-CM TSP、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express』または『SIP Trunk 互換性マトリクス : Cisco Unity、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express』を参照してください。
- サポートされる Cisco Unified Communications Manager バージョンのファームウェアがインストールされた、サポートされる Cisco Unified IP Phone モデル。サポートされる電話機モデルについては、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity/7x/support/7xcusupp.html にある『Cisco Unity 7.x サポートされるハードウェアとソフトウェアおよびサポート ポリシー』の「Cisco Unity Phone View の使用がサポートされる電話モデル」の項を参照してください。

Cisco Unity サーバで 96 個を超えるボイス メッセージ ポートまたは 7,500 人を超えるユーザの場合の要件

- サポートされるプラットフォーム。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。



(注) 96 個を超えるボイス メッセージ ポートをサポートするサーバの中には、7,500 人を超えるユーザはサポートしていないものもあります。

- Windows Server 2003。
- /3GB と /userva=2800 のスイッチを Windows の boot.ini ファイルに追加する必要があります。
- Cisco Unity Tools Depot の Advanced Settings Tool で、「Messaging - 72 or More Voice Ports - Enable Low-Fragmentation Heap」設定を有効にする必要があります。
- 96 個を超えるボイス メッセージ ポートの場合：
 - Cisco Unified Communications Manager 連動 (SCCP または SIP トランクのいずれか)
 - PIMG または TIMG 連動

Cisco Unity ホスピタリティおよびプロパティ マネジメント システム 連動要件

- ソフトウェア バージョンが 4.0.4 またはそれ以降の Percipia Networks Transient Communications Engine (PTCE) サーバ。
- Cisco Unity が、Exchange 2003 または Exchange 2000 の環境にインストールされていること。Exchange 2007 はサポートされない。
- Cisco Unity が、Windows 2003 または Windows 2000 の環境にインストールされていること。
- Cisco Unity が Cisco Unity の仕様を満たすサーバにインストールされていること。各サーバのプラットフォームでサポートされる最大のボイス メッセージ ユーザ数には、すべての通常ユーザとホテル ゲストが含まれます。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/products_data_sheets_list.html にある『Cisco Unity がサポートするプラットフォーム一覧』を参照してください。

Cisco Unity ホスピタリティ機能は、Cisco Unity フェールオーバーではサポートされません。

Cisco Unity コンポーネントで使用可能な言語

この項では、Cisco Unity コンポーネントで使用可能な言語を示します。

Cisco Personal Communications Assistant

中国語（香港）、中国語（PRC）、中国語（台湾）、デンマーク語（デンマーク）、オランダ語（ベルギー）、英語（アメリカ合衆国）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）、ハンガリー語（ハンガリー）、イタリア語（イタリア）、日本語（日本）、ハンガール語（朝鮮）、ポーランド語（ポーランド）、ポルトガル語（ブラジル）、ロシア語（ロシア）、スペイン語（コロンビア）、スペイン語（スペイン）

Cisco Personal Communications Assistant ヘルプ

英語（アメリカ合衆国）

Cisco Unity システム管理

英語（アメリカ合衆国）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）、日本語（日本）

Cisco Unity システム管理ヘルプ

英語（アメリカ合衆国）、日本語（日本）

Cisco Unity Phone View

中国語（香港）、中国語（PRC）、中国語（台湾）、デンマーク語（デンマーク）、オランダ語（オランダ）、英語（アメリカ合衆国）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）、ハンガリー語（ハンガリー）、イタリア語（イタリア）、日本語（日本）、ハンガール語（朝鮮）、ポーランド語（ポーランド）、ポルトガル語（ポルトガル）、ロシア語（ロシア）、スペイン語（スペイン）

IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : csClient

中国語（簡体）、中国語（台湾）、英語、英語（インターナショナル）、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、ハンガール語、ポルトガル語、スペイン語

（その他の言語に対するサポートが追加されたかどうかについては、IBM Lotus Domino の Web サイトを参照してください）

IBM Lotus Domino Unified Communications (DUC) for Cisco : csAdmin および csServer

英語、英語（インターナショナル）、フランス語、ドイツ語、日本語

（その他の言語に対するサポートが追加されたかどうかについては、IBM Lotus Domino の Web サイトを参照してください）

システム プロンプト

アラビア語（サウジアラビア）、カタロニア語（スペイン）、中国語（香港）、中国語（PRC）、中国語（台湾）、チェコ語（チェコ共和国）、デンマーク語（デンマーク）、オランダ語（ベルギー）、オランダ語（オランダ）、英語（オーストラリア）、英語（カナダ）、英語（ニュージーランド）、英語（イギリス）、英語（アメリカ合衆国）、英語 TTY/TDD（アメリカ合衆国）、フランス語（カナダ）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）、ハンガリー語（ハンガリー）、イタリア語（イタリア）、日本語（日本）、ハンガール語（朝鮮）、ノルウェー語（ブークモール）、ポーランド語（ポーランド）、ポルトガル語（ブラジル）、ポルトガル語（ポルトガル）、ロシア語（ロシア）、スペイン語（コロンビア）、スペイン語（スペイン）、スウェーデン語（スウェーデン）、ウェールズ語（ウェールズ）

テキスト/スピーチ エンジン

中国語（香港）、中国語（PRC）、中国語（台湾）、デンマーク語（デンマーク）、オランダ語（オランダ）、英語（イギリス）、英語（アメリカ合衆国）、フランス語（カナダ）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）、イタリア語（イタリア）、日本語（日本）、ハンゲル語（朝鮮）、ノルウェー語（ブークモール）、ポルトガル語（ブラジル）、ポルトガル語（ポルトガル）、スペイン語（スペイン）、スウェーデン語（スウェーデン）

ViewMail for Outlook

中国語（香港）、中国語（PRC）、中国語（台湾）、デンマーク語（デンマーク）、オランダ語（オランダ）、英語（アメリカ合衆国）、フランス語（フランス）、ドイツ語（ドイツ）、ハンガリー語（ハンガリー）、イタリア語（イタリア）、日本語（日本）、ハンゲル語（朝鮮）、ポーランド語（ポーランド）、ポルトガル語（ブラジル）、ロシア語（ロシア）、スペイン語（コロンビア）、スペイン語（スペイン）

ViewMail for Outlook ヘルプ

英語（アメリカ合衆国）

音声認識エンジン

英語（アメリカ合衆国）

管理者/インストール担当者向けの製品マニュアル

英語（アメリカ合衆国）、日本語（日本）

エンド ユーザ向けの製品マニュアル

英語（アメリカ合衆国）、日本語（日本）

Cisco Unity コンフィギュレーションの特徴

次の各項を参照してください。

- [Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーション \(P.28 \)](#)
- [Cisco Unity ボイスメッセージ コンフィギュレーション \(P.28 \)](#)

Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーション

Cisco Unity ユニファイドメッセージ コンフィギュレーションには、次の特徴があります。

- Cisco Unity サーバはボイスメッセージのみ処理します。電子メールメッセージのテキスト / スピーチ (TTS) 再生については、オプションで処理します。ボイスメッセージと電子メールメッセージはメッセージストアサーバ上に保管されます。
- Cisco Unity サーバはネットワークに接続されるため、メッセージストア、ディレクトリ、およびウイルスチェックやバックアップなどのネットワークユーティリティにアクセスできます。
- ユーザは、次の手段でメッセージを確認できます。
 - Domino の場合は、電話または電子メールクライアントを使用。
 - Exchange の場合は、電話、Cisco Unity Inbox、または電子メールクライアントを使用 (Cisco Unity Inbox には Cisco Personal Communications Assistant (Cisco PCA) を介してアクセスします)。
- Cisco Unity の管理は、ネットワークを介して行うこともできます。
- ユーザは、Cisco PCA を介して Cisco Unity Assistant にアクセスできます。
- ユーザアカウントのボイスメール属性および電子メール属性は、Cisco Unity システム管理を使用して、単一のロケーションから管理できます。

ユニファイドメッセージサーバとして Cisco Unity サーバをインストールする作業は、次の認定を受けた担当者が行うようにしてください。

Domino 版	Lotus 認定システム管理者
Exchange 版	Microsoft 認定システム エンジニア

Cisco Unity ボイスメッセージ コンフィギュレーション

Cisco Unity ボイスメッセージ コンフィギュレーションには、次の特徴があります。

- Cisco Unity サーバはボイスメッセージのみ処理します。
- Cisco Unity サーバがネットワークに接続されている場合、次のことが可能です。
 - Cisco Unity のネットワーク上での管理。
 - ユーザによる Cisco Personal Communications Assistant (PCA) を介した Cisco Unity Assistant へのアクセス。
 - サーバがウイルスチェックやバックアップなどのネットワークユーティリティにアクセス可能。また、メッセージストアおよびディレクトリが別個のサーバ上にインストールされている場合は、それらにもアクセスすることが可能。
 - Cisco Unity と、Cisco Unified Communications Manager および Cisco SIP Proxy Server との連携。
 - Cisco Unity と回線交換電話システムとの、Intel PBX-IP Media Gateway ユニット (PIMG または TIMG) を通じた連携。

Cisco Unity サーバをネットワークに接続するための条件については、P.14 の「ネットワーク要件」を参照してください。

- ユーザは、次の手段でメッセージを確認できます。
 - Domino の場合は、電話を使用。
 - Exchange の場合は電話、または Cisco Unity Inbox を使用 (Cisco PCA を介してアクセス)。
- ユーザ アカウントに電子メール属性がある場合は、ボイスメール属性とは別個に管理する必要があります。

Domino サーバに対して Cisco Unity をボイス メッセージ コンフィギュレーションにインストールする作業は、Lotus 認定システム管理者の認定を受けた担当者が行うようにしてください。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, the Cisco logo, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0805R)

このドキュメントで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。ドキュメント中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2008, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2008, シスコシステムズ合同会社 .
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒 107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00